

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
4. 為替管理・金融						
1	自動部品	為替管理の困難	・ 欧州域内の統一通貨であるユーロでの取引が多く、現地通貨に換算する際の収支への影響が大きい。	継続	・ 統一通貨への移行。	
5. 税制						
1	自動部品	高い付加価値税	・ 現行のハンガリー付加価値税（27%）が高止まりしており、周辺欧州諸国に対して高い。また還付申請から実際の還付までの期間も長い。	継続	・ 付加価値税の軽減。	
2	日商	関税非課税品から課税対象へ強制変更	・ 弊社主要製品の1つでインドネシアのグループ会社からハンガリーへ納入している製品があるが、極少量の添加剤を含むものの主成分の性状に影響を与えない事と添加量が少ないこともあり、単一製品として輸入が認められていたため、関税免除されていた。しかし突如ハンガリー税関当局が、混合品であると主張し、強引に課税対象とした。他のEU加盟国は現在も単一品としてのHSコードで輸入しており、EU加盟国間で齟齬が発生している。	新規	・ 各加盟国の都合・判断だけでの変更の禁止。	
6. 雇用						
1	自動部品	労働者過保護の労働法制	・ 休暇が他国と比較して多すぎる。 一 有給休暇は、労働者の勤続年数ではなく年齢に応じて決められているため、新人でも高齢であれば30~40日も取得することができる。 一 通常の有給休暇に加え、病気休暇も認められている。年間通算15就労日の病気休暇の期間は有給であるが、会社の負担となる。医師の証明書は簡単に容易に取得できるので、15日の病気休暇は年次有給休暇と変わらないものとなっている。	継続	・ 少なくとも、有給休暇は労働者の年齢ではなく、勤続年数に応じて決められるべきである。 ・ 有給の病気休暇は削減する必要がある。また医師が証明書を簡単に発行しないようにするべきである。	・ 労働法(2012年法律第1号)第1章「総則」 59条 休暇 61条 病気休暇
2	自動部品	労働者の不足	・ 現地における外資系法人企業の増加（韓国系が多い）に伴い、労働者の奪い合いの状態が続いている。労務費の高騰と相まって、経営環境悪化要因の一つとなっている。	継続	・ 第3国（特にアジア系）人材に対する就労許可の緩和。	
7. 駐在員・出向者等に関する問題						
1	日機輸	煩雑なビザ取得要件	・ ビザ申請に必要な書類が多く、かつ取得に非常に時間がかかるため、ビジネスに支障をきたしている。	継続	・ ビザ発行手続きを簡素化して頂きたい。	・ 移民法
10. 環境問題・廃棄物処理・炭素中立関連の諸規制						
1	自動部品	複雑な環境関連の課税	・ 欧州環境保護関連の課税等は地球環境保護のために理解はできるが、申請方法が複雑であるため、コンサル会社に委託する費用が予想される。	新規	・ 企業の担当者レベルで簡単な手続きができるように当局からの研修等の実施。	・ 欧州森林破壊防止規則(EUDR) ・ 炭素国境調整措置(CBAM)
99. その他						
1	自動部品	エネルギー価格、物価の高騰	・ 現在、エネルギー価格(電力、ガス)の市況高騰により会社・工場運営及び会社の資金繰りを圧迫している。 また、その他消費者物価も高騰しており、会社経営に大きな影響を及ぼしつつある。	継続	・ エネルギー価格はやや低減傾向であるが、政府政策の提示。 ・ 物価上昇率以上の最低賃金の抑制。	